

ご登録はお済みですか？



三島市 ×

三島市LINEは、
令和元年7月から運用を開始し、現在、約24,000人の方に配信しています。

詳細はコチラ

ライン LINE 公式アカウント

市では、スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE」を活用して、新型コロナウイルスに関する情報など市の様々な最新情報を発信しています。スマートフォンを活用して各種講座の申込みや予約などができます。ぜひ、登録（友だち追加）をお願いします！

問合せ 広報情報課 ☎ 983・2620

▶ QRコードで登録



▶ ラインIDで検索

@mishima_city

検索

カンタン登録！

ごみ収集日のお知らせ、
緊急情報などの情報が
盛りだくさん！



登録後は、
メニュー右下の受信設定をお願いします！

ライン 三島市 LINE の設定をサポートします！

スマートフォンをお持ちの人で、三島市 LINE（ライン）の設定をしていない人を対象に、右記の日程で広報情報課職員が設定の補助をします。操作に不安な人はぜひお越しください。

※電話による事前予約制です（各日程、前日までに）

持ち物 ご自身のスマートフォン

事前申込み・問合せ 広報情報課 ☎ 983・2620

回	日 時	会 場
1	3月3日(休) 午前9時30分～11時30分	中郷文化プラザ(展示コーナー)
2	3月3日(休) 午後1時30分～3時30分	北上文化プラザ(研修室4)
3	3月4日(金) 午前9時30分～11時30分	市役所広報情報課(本館2階)
4	3月4日(金) 午後1時30分～3時30分	錦田公民館(和室)
5	3月8日(火) 午前9時30分～11時30分	北上文化プラザ(研修室4)
6	3月8日(火) 午後1時30分～3時30分	中郷文化プラザ(和室)
7	3月9日(休) 午前9時30分～11時30分	錦田公民館(図書室)
8	3月9日(休) 午後1時30分～3時30分	市役所広報情報課(本館2階)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期
または内容変更する場合があります。(最新情報は市ホームページでご確認ください。)

募集

環境講座
プラスチックごみを考える

今年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行予定で、使い捨てプラスチックの大幅な削減が求められています。プラスチックごみ問題について一緒に考えてみませんか。

時 3月14日(月)午後1時30分～3時

場 市役所中央町別館3階 第3会議室

※講師はオンラインで参加

講 鈴木靖文さん (㈱ひのでやエコライフ研究所)

定 10人 ※応募者多数時抽選

申 3月9日(水)までに氏名・住所・連絡先(電話番号)を電話・メールのいずれかの方法で環境政策課

☎ 983・2647

✉ kankyou@city.mishima.shizuoka.jp

問 環境政策課

☎ 983・2647



募集

三島大通り商店街
子ども・子育て応援ツアー

時 ①3月11日(金)②3月18日(金)各日午前10時～正午
場 大通り商店街

内 子育て中のママ・パパのリラックスとお子様の健康に役立つお店で店主と交流し、商店街の「あかちゃんへのや」をチェック！(お土産付き)

対 未就学児のいる家庭

定 各回5組 ※応募多数時抽選

申 via701へメールまたは電話

✉ info@via701.com、☎ 976・0038

問 via701 ☎ 976・0038

問 子育て支援課

☎ 983・2712



情報

静岡県に対して意見を述べました
令和3年度「こども県議会」



◀特設ホームページはこちらから

■こども県議会とは…原則8月21日の県民の日に、市町を代表する中学2年生(こども議員)が県議会本会議場に集まり、県幹部職員と意見交換をします。今年度は、各こども議員が1分間の意見動画を作成し開催されました。

■中郷西中学校 佐々木璃音さん



自然体験学習で下田の白浜海水浴場に行きました。そこで、砂浜や海の中に多くのプラスチックゴミがあることを知りました。レジ袋をもらわずマイバックを使うことを一人一人が意識していけば、きっとプラスチックゴミは減少していくと考えます。マイバックを使ってもらうには、

マイバックを使った人にポイントが付き、ポイントがたまった人に静岡の特産物をプレゼントしたり、ポイントを使って買い物ができるようにすることで、多くの方がマイバックを使うようになるのではないのでしょうか。このような活動を通して、静岡の素晴らしい海をみんなで守っていくことを提案します。

■山田中学校 三浦貴音マグネスさん



こども達は、『日本国内』のことだけではなく、『世界』を知る必要があると考えています。そのために、小・中学校でさらに『国際交流』をする事が大切ではないでしょうか。県や三島市でも、交換留学などの取り組みが行われているようですが、静岡の全てのこども達に機会が与えられているわけではありません。僕の提案は、

『親善大使が学校に一ヶ月ずつ滞在し、互いの違いを分かり合い、また共有する機会を「多くのこども達」につくること。』です。価値観の違いを理解することで、SDGsの10番『人や国の差別をなくそう』というものにつながると思います。『学校』は知識を学ぶだけではなく、『人としての心』を創り上げる場所でもあります。『学校』で新たに学べることとして『国際交流』をもっと促進してはどうでしょうか。

問 ▶ 県広聴広報課 ☎ 054・221・2231、FAX 054・254・4032 ▶ 学校教育課 ☎ 983・2671、FAX 976・2735

【凡例】 時 とき・場 場所・内 内容・講 講師・費 費用(記載なしは無料)・対 対象・定 定員・持 持ち物・注 注意事項・申 申込み(記載なしは不要)・問 問合せ